



# エートス通信 第10号

## エートス通信

2009/04/15

### 目次

1: 桑原社長メッセージ  
2: イニシエーションスピーチ  
(Y、F)

3: 未来会/女性会報告  
4: 2008年忘年会  
5: 新入社員紹介  
6: 会社からのお知らせ

## 桑原社長メッセージ

社員の皆様、毎日の仕事の遂行真にご苦労様。

未曾有の不況の中、平成21年度がスタート致しました。

昨年12月のエートス通信で、

『本格的に厳しい状況になるのは来年であろうと思われるが、

全社員の団結と各人が目標を明確にし、現場で無くてはならない人材に成って行くことがもっとも大事であろうと思う』

と書きましたが、まさにその通りの状況になって参りました。

しかしながら、我がエートスは楽観主義で行きたいと思えます。

そして、こういう時こそ会社を、自身を飛躍させるチャンス、と捉え何事にも積極的にチャレンジして行きたいものです。

又、4月1日付けで山口晃弘君が入社しました。

たった1人の新人ですが、先輩諸氏は大切に又、厳しく育てて欲しいと思えます。

『冬は必ず春となる』・『闇が深ければ深いほど暁は近い』とも言います。

全社員一丸となって、前進して行きたいと思えます。

最後になりますが、父、故桑原博の葬儀に際し、社員諸氏には、大変お世話になりました、紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

平成21年4月1日  
日本エートス株式会社  
代表取締役 桑原 治夫

# イニシエーション・スピーチ

## ●システム部 システム開発課 T・Y

T・Y です。1986年11月18日生まれ。21歳。5歳のときに父親の実家の青森県八戸市に引っ越す。現在は祖父母と千丸台というところに住んでいます。バスや電車にも問題なく乗れるようになり、横浜という街にも慣れてきた感じです。そろそろ生い立ちについて話したいと思います。幼稚園時代は、実家から幼稚園までのそれほど離れていなかったのも、一人で幼稚園まで通っていました。そんな距離の近さが幸いして、道端でおしっこをしたことや弟と幼稚園まで競争して転んだことを記憶しています。小学校時代になると友達も増え、学校が始まる前に登校してサッカー、学校が終わったらドッジボールみたいな感じでした。とにかく暗くなるまで外でずっと遊んでいることが多かったです。冬になると雪を集めて雪だるまやかまくらを作ったり、スケートなんかをして遊んでいました。小学校高学年にもなると怪我に見舞われることがしばしばありました。ほとんどが自身のブランコの前にある柵を飛び越える度胸試しが流行りましたが、荷物を持っていたのが災いして、親指をけがしたことです。理科室の床がぬれていると走らずに走り回り、頭部に内出血を出来、先生があわてていたことを覚えています。

鼻をほじっていることがとにかく多かったです。というのも僕は、上級生から「ハナクソ星人」と呼ばれていました。それは掃除のとき話です。僕の通っていた小学校では、クラスごとに掃除を行なうのではなく、生徒ごとに掃除をする教室が割り当てられ、各学年から数名が集まり教室の掃除を行なう手法を採用していました。何気なく掃除の時間に鼻をほじっていると「うわあ〜」という声と冷たい視線を感じ取った僕は、上級生に駆け寄りました。すると上級生は一目散に僕から離れていくのです。それが楽しかった僕はハナクソ星人と呼ばれるようになるのですが。

学区が狭かったこともあり、みんな同じ中学校でし

た。中学校は小学校のより離れていたため通学が大変でした。2年生のとき、なんとか交通難を打開しようと、禁止されていた自転車通学を友達としていました。自転車通学を通し、とてもスリリングな経験をすることが出来ました。公園の近くに住んでいた先生の家でロケット花火を飛ばすのが、夏の風物詩として定着し、高校を卒業するまで続けられていました。しかし、災いは一向になくなることはありませんでした。貸し切りバスの停車ボタンを「黒ひげ危機一髪」的な感じで押し、結局先生に怒られたこと。検尿を忘れてしまい、検尿に水を入れて提出し、視聴覚室で正座させられたことを思い出します。大変なこと多かったですが、何より今まで以上に友達と仲良くなれたのが最高の収穫だったと思います。高校時代は部活に集中することで少し落ち着いた生活をすることが出来るようになりました。といっても、友達の誘いを断ることが出来ずにレスリングを3年することになりました。午前の練習で基礎体力作りを行い、午後の練習で技術練習こなしました。練習量の多さと疲労感から、半年過ぎた頃からは、いつやめようかと考えるようになりました。練習の積み重ねや組み手での面白さがわかると、レスリングの楽しくなりあつという間に3年が過ぎた感じです。試合でも勝つことが出来、最終的に県で準優勝することが出来ました。レスリングを通して、辛くても継続していくことが大切なことなんだと学ぶことが出来ました。高校の卒業後は、アルバイトを1年位していたとき、長島さんからエートスを紹介され、エートスに入社しました。そして今に至ります。振り返ってみると21年間色々なことがあったと思います。今でもわからないことは多いですが、この仕事が徐々に好きになることが出来ました。この先何があるかわかりませんが、どんな自分のように成長しているのか楽しみです。とにかく今をしっかりと生きて生きていきたいです。

## ●営業部 J・F

私は昭和54年7月25日にここ大和市で生まれました。

ごく普通の幼少期を送っていたと思います。TVを見て、ゲームをして、外で遊んでいました。振り返ってみれば、ゲームをしたりするよりも、とにかく外で体を動かしていた方が好きな子供だったと思います。

小学生の時に6年間、書道を習っていました。筆を持って字を書くのは好きで、一応6年間で書道4段まで頂くことができました。今も字を書くのは好きですが、昔から今にいたって、ボールペンで字を書くのは嫌いです。まあ、本当は、書道よりもサッカーを習いたかったのですが、やらせてもらえなかった事もあり、もし、サッカーを習っていたら、最近始めたフットサルも、よりいいプレイができて楽しいだろうなあと思っています。

小学生の時は、理科が大嫌いでした。算数もあまり好きではなく、社会や国語の方が成績も良く、勉強していても楽しかったです。図工での物作りや絵を書いたりするのも得意ではなく、体育や音楽が好きでした。

中学生になってからは、両親の離婚のため、父に引き取られ、父と妹と私の3人で暮らしていました。生活環境やその他色々あり、少しずつ夜遊びが増えていき、私の中学生生活として、まともに学校に通っていた期間は、中学1年生の1学期、3か月半だけでした。夏休みを境に今までと180度違った生活に変わってしまい、人を傷つけたり、悪さをしたりと、やりたい放題の毎日でした。そのため、私の過去は、人に言えない過去だけだと思います。

中学2年の時に、幼馴染に誘われて、バンドを始めました。とはいっても、楽器ができるわけでもなく、ただ気持ちよく歌っているだけでしたが、何度もライブをやり、充実した生活でした。ライブには、友達から全く知らない人まで数多く来てくれるようになり、中学生の私たちには、50、60人の人たちが来てくれるだけで大満足でした。特に女の子が多い日は格別でした。

中学3年生の夏休みくらいから引越し屋でバイトを始め、卒業してからはすぐに仕事を始めました。初めの半年くらいは板前の見習いとして働いていましたが、上司がものすごく嫌な人で、若かった私はそれだけで辞めてしまい、もっと稼げる鳶職に友達の紹介で始めるようになりました。

9月というまだ暑い時期から始めてしまったこともあり、とにかくきつく、毎日辞めることばかり考えていましたが、周りの人たちがみんな辞めてしまっていく中、親方と一番辞めたがっていた私だけになってしまい、辞めるに辞められず、逆にそんなことを考える暇もないほど忙しくて、そのおかげで人一倍働いた甲斐もあり、人より早く仕事ができるようになったと思います。

とは言っても、毎日辛い日々は変わりませんでした。ミスをすればどんなに離れた場所からでもスコップやハンマーが飛んできました。ユニポでヘルメットの上から頭を殴られたことも多々あり、あまりにも辛くて勝手に仕事中に現場から帰ったことも2、3回ありました。今思うと信じられないような現場での毎日でしたが、それでも3年間続けて、もっと上の仕事につきたくて、街鳶から足場鳶に転職致しました。

足場の鳶は私に合っていました。高いところが好きでしたし、職場の環境も良かったし、何よりも親方に期待されていたことが何よりもうれしかったからです。

この仕事はずっと続けており、エートスに誘われなければ今も続けていたと思います。普通の会社員とは違って、保証もなく、世間的な信用も低かったですが、人間として、社会人として、人一倍厳しいところでの生活がいち早く成長できた事に繋がったと思っているので、良い経験だったと思います。

この仕事では、親方の好意もあり、独立ではありませんが、月給としての従業員ではなく、現場を1つ1つ任されて、現場1つの単価での請負をさせていただいておりました。そのため、その中から私のために一緒に働いてくれた部下に給料をやっていたので、一職人という枠を超えた事を親方に任されていたことから、私にとって、この親方には、感謝しても感謝しきれない気持ちで一杯です。

仕事以外において、まず、私は、17歳で綾瀬に部屋を借りて実家を出ました。理由としては、当時付き合っていた彼女が、父とうまくいかなかったからです。彼女は山梨県の子でした。さすがに毎回会うたびに山梨まで行くのはきつく、私の実家で父や妹と一緒に同棲をしていたのが原因です。まあ、同棲してから半年くらい色々あり、山梨に帰る事になって別れましたが、その後も1年くらいはそこに住んでいました。半分、たまり場のようになってしまいましたが、その生活はその生活で楽しいことも多く、充実した日々だったと思います。

その後は、仕事の先輩と一緒に川崎で2人暮らしをしておりましたが、仕事の都合上、川崎で暮らしていると不便なため、一旦実家に戻りました。

19歳の終りに中学3年の時に好きな女性と再会しました。5つ年上の女性で、再開して1ヶ月後に東海大学前の彼女の部屋で同棲を始めました。ただ、契約も残り3カ月で、東海大学前から毎日東林間まで通うのも大

変でしたので、彼女と相談して小田急相模原に部屋を探して引っ越してきました。そこで2年ちょっと同棲をしていましたが、同棲中に互いの嫌なところを見すぎてしまい、結果、別れることになりました。

その後、仕事の都合で埼玉へ行くことになり、7年くらい過ごしておりました。神奈川を出てからは、彼女もいなかったため、仕事と勉強に精を出しました。特に、学歴のないことに負い目を感じていたこともあり、仕事の合間に勉強をして、英検2級、簿記2級、大検を2年くらいかけて取りました。また、様々な本を読むようになり、特に哲学書や、自己啓発書、ビジネス書に興味を持つようになりました。人から教わるのに、抵抗がある時があり、本からの影響で学んだことがすんなりと私の中に入ってくることの方が多いため、本から学ぶようにしております。今では、デール・カーネギー、ナポレオン・ヒル、ジェームズ・アレンが書いた成功哲学本や、日本人でいえば、松下幸之助、稲森和夫の本が好きです。

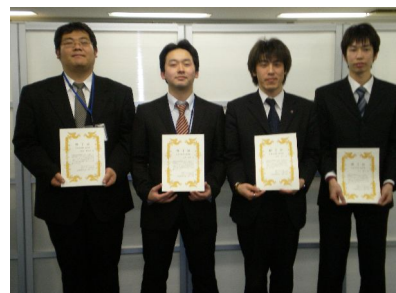
現在は、エートスに就職して今までと全く違った生活を送っております。パソコンの電源の入れ方もわからない状態で就職して、本当に覚えることも多く大変です。パソコンについてばかり勉強できず、営業の仕事について覚えなきゃならないことの方が山ほどあり、3月10日に入社してわずか20日目にして、1人で営業をしなければならない状況になり、いったい何をしたらよいか分かりませんでした。今もよく分かっておりませんが、それでも何がしたいかという目標はしっかりと持ち、世の中で1番やりたくなかった営業という職種においてもやりがいを見いだせたので、今は私自身がやりたい事に向かって前進していこうと思っております。

先日、初めて大きなミスをしました。営業として最も大切であるところを1番疎かにしていたからです。何にも教わらずに営業を1人でやっている中で、必ず早かれ遅かれこうゆう失敗があるような気はしていたのですが、実際にミスをするとなんか改善しなければならぬのかがよく分かり、いい経験になりました。そして、社内にも、社外にも本当に心配してくれる人が少ない人数ですが、何人かいる事に築けたので、今後、そういう人たちを大切に、また、更に1人でも増やせるように、そんな生活をエートスにいる間はしていきたいと思っております。

## 「未来会／女性会」報告

2009年3月13日の未来会で以下の4名が第四期、2008年度の卒業を迎えました。

- ・ K・Kん (T・Sグループ)
- ・ A・Tさん (S・Mグループ)
- ・ K・Tさん (S・Oグループ)
- ・ J・Fさん (T・Sグループ)



2009年3月13日の女性会で以下の2名が、2008年度の卒業を迎えました。

- ・ S・Fさん (R・Kグループ)
- ・ F・Tさん (R・Kグループ)



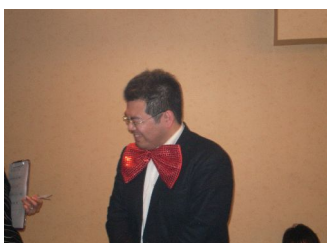
## 2008年忘年会

去る2008年12月12日、2008年の忘年会が開催されました。



社長の挨拶から始まり、乾杯で盛り上がるも、カニが出てきて、皆がもくもくと食べて静かになったり(笑)そして、今回のメインイベント「チーム対抗ことわざあてゲーム」を行ないました。

ジェスチャーを行い、みなが当てるというシステムです。ジェスチャーする人はリボンをつけてます♪



中にはリボンが似合いすぎる人もちらほらと(笑)

## 2009年度新入社員

今年も我らがエートスに新入社員が入社しました。現在は「自社のホームページの作成(フラッシュ部分)」を行なっています。

A・Y くん



### 会社からのお知らせ

- エートス通信発行について
- ・次回、第11号は7月に発行します。